



軽費 / 特養 / 高齢者在宅サービスセンター / サービス付き高齢者向け住宅 / ケアハウス / グループホーム / 小規模多機能 / 看護小規模多機能

No. 345 号

2019年(令和元年)5月

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 TEL 042-527-0031(代) FAX. 527-2646  
発行人：旭 博之 編集：広報委員会  
ホームページ：http://www.shisei.or.jp/ Eメール：shisei-home@shisei.or.jp

Shisei Senior Service Center



## 至誠ホームオンセン

### 開設しました！

至誠ホームオンセン

園長 河合晴夫

平成31年4月1日至誠ホームオンセンに新しいご利用者の方が入居されました。至誠ホームオンセンの記念すべき開設の日です。  
朝からテレビでは、新しい元号発表の日とあって総理大臣官邸、皇居

などを生中継しています。午前11時40分頃菅官房長官より「令和」の元号が発表されました。

3月26日の「至誠ホームオンセン開設記念式典」では、行政・自治会・第七小学校・関係業者・後援会の方々など100名余りの方々にお越しいただき、春の日差しを浴びた1階の地域交流スペースで和やかに執り行いました。

至誠ホームオンセンは4つのキーコンセプトがあります。

- ・ここに在って良かった「幸せ創りのホーム」
- ・「フットケア」立つ、歩く、足元からの充実ケア
- ・もしもの時に 地域の安心「福祉避難所」
- ・「ワークファミリーバランス」年間休日120日

平成最後の年に至誠ホームオンセンは開設となり、新しい「令和」の時代にオンセンは歩みを進めていくこと

となります。

地域の皆様との絆を大切にしながら「キーコンセプト」を要として幸せ創りのホームを目指してまいります。皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



近隣の立川市立第七小学校児童全員によるパネルがピロティに飾られています

## 至誠ホームオンニ 開設記念式典行われる

至誠ホームオンニ

マネジメント副主任 伊藤和紀

去る平成31年3月26日、至誠ホームオンニ開設記念式典が執り行われました。天候にも恵まれ、式典には想定を上回る多くの方（100名を超える）で会場は賑わいました。

橋本理事長の挨拶にて開会し、各御来賓の方から祝辞を頂きました。併せて、オンニ建設に携わって頂いた「日本建設株式会社 東京支店」及び「クン・プロダクト一級建築士事務所」へ感謝状を贈り致しました。



式典には立川市立第七小学校の上村校長先生、壁画作成に尽力して頂いた高田先生にもお越し頂き、オンニのピロティを飾る壁画を披露して頂きました。第七小学校の全校生徒の皆さんのお力により、オンニのピロティは華やかに彩られています。是非一度ご覧頂ければと思います。

会の後半にはオンニの内覧と並行して、メデイカルフットケアJF協会の宮川晴姫先生に、フットケアのデモンストレーションを行って頂きました。初めてフットケアを目にする方も多く、皆さま興味津々といった様子で見学をされていました。

オンニ開設に当たっては、各種業者の方々をはじめ、多くの方にご協力を頂きました。この場をお借りし、皆様方に御礼申し上げます。

開設に伴い、「開設準備室」としての役目は終了することになりますが、オンニがその役割を果たすためのスタートラインに立ったに過ぎません。地域の声に応え、多くの人に「幸せ（オンニ）」を届けられるよう努めて参ります。

## 新任のご挨拶

至誠ホームスオミ



園長  
井上富士子

私は、昭和55年に入職し、以来39年が経ちました。

入職当初は至誠特養の介護職員として2年間勤務し、その後は、至誠デイケアセンターのデイホーム、柏センターでケアマネジャーなど在宅サービスで21年間勤務しました。それから、軽費老人ホームである和光ホーム、スオミの生活相談員を11年間経験させていただき、この3月までの5年間は、調布若葉・柴崎ケアセンターで管理職として勤務しております。

入職してこれまで長きに渡り仕事を続けてこられたのもたくさんの方々のお支えのお陰だと感謝の気持ちで一杯でございます。

そして、今の度、スオミの園長を拝命し身の引き締まる思いです。重責ではございますが、その役割をしっかりと果たして参りたいと存じます。

スオミは、「ともに生きる」をコンセプトに共生の生活の実現を目指し着実に歩んできております。この度元号も「令和」となり、気持ちも新たに今後ともその歩みを継続していけるように努めて参ります。

さらに地域、社会により貢献できるように努力して参りますので今後とも皆様のご指導を宜しくお願いいたします。

## 至誠コミュニケーションセンター 至誠オンニケアセンター



センター長  
宮本智行

至誠ホームオンニの開設に際し、看護小規模多機能事業所、短期入所生活介護（ショートステイ）部門からなる至誠オンニケアセンターのセンター長を至誠コミュニケーションセンター長と兼務という形で拝命いたしました。

コミについては、これまでも書かせていただいておりますが、訪問介護・居宅介護支援をベースに、地域貢献事業である「いいこの場」等、地域に根差した施設として充実しております。

看護小規模多機能事業所は医療ニーズにも対応でき、宿泊も通いも訪問も可能



な在宅での暮らしを強力にサポートできる可能性を有したサービスです。一番のウリは、すべてのサービスが馴染みのスタツフで対応できること。立川市でも初めての事業で、市民や福祉事業の関係者からの大きな期待も感じます。一方で、定額制であり「使い放題」といった誤ったイメージも悩みの種です。

いろいろな意味でイメージ先行のサービスではありますが、自分達の歩みが立川市での新しいサービスの開拓につながっていることを胸に刻み、励んでいきたいと思っています。

コミでは、多くの地域の方々に支えていただきました。今後も皆様にご指導を頂戴しながら地域に貢献できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

至誠ホーム調布若葉ケアセンター  
至誠ホーム調布柴崎ケアセンター



センター長  
福田 靖子

私は平成7年から調布市において、行政からの委託事業である在宅介護支援センター、地域包括支援センターの相談業務に携わってきました。

平成23年には至誠ホームが調布地区にケアセンターを立ち上げることになり、若葉ケアセンターの開設備を手伝わせていただきました。その後は調布で2か所目となる柴崎ケアセンターにて副センター長をしております。

若葉ケアセンターには6年ぶりに戻ることになりますが、この6年間で地域の方々との交流が盛んになり、ボランティアの皆様にも様々な活動でお手伝いをいただくという地域に開かれたセンターになっていました。前任のセンター長方が築いてこられた基盤を引き継ぎつつ、さらに私が調布で培ってきたネットワークを活用して、風通しの良いセンターを目指してまいります。

また柴崎ケアセンターには私の後任で吉岡正晶副センター長が着任しましたので、二人で協力しながら調布地区で至誠ホームとしての実践を積み重ねていきたいと思っております。

今後も皆様からご意見、ご指導をいただきながら地域福祉に貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



高齢期を元気に過ごすには!!  
専門職からFunポイント!

ムセは大事!

立川錦ブロック 生活リハビリ 言語聴覚士 笈川 梢

「ご飯を食べている時、お茶を飲んでいる時、ムセることはありませんか？」

ムセると苦しい思いをします。ではムセはなぜ起こるのでしょうか？

人は食事をする時、とても複雑な運動をします。まず、目で見て食べ物を認識し、固さうだとか一口量はどのくらいか、食べられるかを判断します。次に目で見て判断した量を口に入れ噛み砕き、口や舌をよく動かし唾液と混ぜて一まとめにします。そして、まとめられた食べ物を喉の奥へ送り込みます。この時、口を閉じて鼻に逆流しないように口と鼻の間を閉じます。ここが「ごっくん」とするところで、奥に送り込まれた食べ物は、肺に入らないように蓋がされた気道の横を通り、食道へ入っていきます。ここまでの運動を絶妙なタイミングでそれぞれの器官が連携することで安全に食べる（嚥下）ができています。

摂食・嚥下機能が低下し、このタイミングがずれて連携が上手く行かないと、気道に食べ物が入ってしまう誤嚥となります。原因としては脳血管障害の後遺症や薬の副作用、意識レベルの低下等がありますが、特に病気を

していなくても加齢により低下することもあります。

この誤嚥を防ごうとする身体の防御反応がムセです。ムセがあるということは誤嚥しかかっているということですが、同時にそれに気づき、何とか防ごうとしているということでもあります。なので、ムセは今の嚥下状態を測る大事な目印でもあるのです。

ムセが見られたら ①ムセが起こる頻度・②ムセの長さ・③ムセの強さ・④ムセが収まっても、またムセを繰り返すか・⑤特定の食べ物でムセているか 等に注意をしてみてください。

頻度が増える、ムセが長く続く、弱いムセしかでない、一度止まってもまた繰り返すなどがあったら食形態やトロミを見直すタイミングです。この時に特定のものでムセる様子があれば、その部分の「食形態」だけ変えることでムセが減ることもあります。例えばお茶や水っぽいものでムセが多ければトロミをつけるなどです。

楽にご飯を食べて楽しい食事の時間にしましょう。



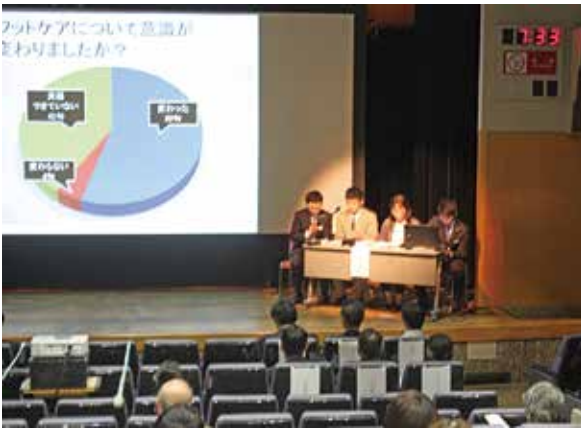
## 第24回 至誠ホームサービス向上大会

サービス向上委員長 櫻井桃世

平成30年度のサービス向上大会が3月20日(水)に立川市女性総合センターアタイムで開催されました。

この大会は至誠ホームの職員が一年間かけて取り組んできた内容と成果を発表し、ホームの高齢者ケアを広く知っていただくために行われているものです。

今回の発表は、3つの地区大会を勝ち抜いた「至誠ホームミナ地域包括支援センターなみき」「至誠ホーム多職種連携チーム」「至誠ホームキートン特養2階」の3サークルによるものでした。



### 1 至誠ホームミナ 地域包括支援センターなみき

「みんなの時間を大切にしよう！～良いことづくしのタイムマネジメント～」

地域包括支援センターの基本業務である相談の件数も増加の一途をたどる中、虐待や緊急対応など緊張感のある対応によりスタッフの精神的な負担も大きくなっています。

タイムマネジメントによる業務の効率化により、スタッフの心に余裕ができることで、相談支援等サービスの質の向上に繋げるために取り組みをしました。

個々と全体でのスケジュールの見直し、業務量・業務の種類と時間外勤務の相関関係の明確化などに取り組んだ結果、より丁寧に相談者や地域と向き合えるようになるとともに、時間外勤務の削減にも繋がりました。

### 2 至誠ホームアウリンコ 多職種連携チーム

「ケアの基礎・フットケアで快足生活」

高齢者は足部の皮膚トラブルを抱えている方が少なくありません。フットケアを行うことで足部の状態の改善を目指すために、看護職・介護職・理学療法士が連携をして取り組みました。

爪切り等の足部ケアを勉強会を通して学び、継続的なフットケアを行うことで歩行状態の改善ができ、ADLが維持できる可能性に気づくことができました。また多職種の連携がより一層強化できたという効果もありました。

### 3 至誠ホームキートン特養2階 職員・入居者・家族の意見から考える課題

職員体制の厳しい中で、入居者のケアや事務作業、職員の育成等多様な業務を行うためには、業務全般の改善が必要と考えました。それには、職員の意見のほか、入居者・家族の意見を取り入れていく視点が必要であり、家族の理解が必要でした。

ケア適正化プロジェクトを立ち上げ、アンケート等で課題を抽出し、一つひとつ課題に対して、丁寧かつ効率的に対応しました。

福祉用具の導入や環境整備を行った結果、職員の身体的、精神的負担の軽減に一定の効果があり、課題の認識・共有によりフロア職員の意識が向上しました。入居者・家族から頂いた意見については、今後も継続して取り組んでいきます。

いずれ劣らない発表でしたが、審査の結果、至誠ホームアウリンコ 多職種連携チームが最優秀賞を受賞しました。

また第二部では、至誠ホーム高齢福祉研究所から「至誠ホーム在宅サービス利



用者満足度調査」の中間報告がありました。自由記述欄においては、ホームのサービスに対する指示的なご意見もいただき、今後の最終報告が待たれるところです。

ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。今後にも至誠ホームへのご支援の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

至誠ホーム  
オンブスマン  
テルヴェ!

## 第53回利用者相談委員会の報告

平成31年3月19日(火)、第53回利用者相談委員会が開催され、9月以降に寄せられたお申し出5件について話し合われました。



## 障害者福祉事業総合化計画 ～至誠ホームケアプラザの跡地に障害福祉と 地域貢献のための総合施設を建設します～

児童事業本部長 高橋 久雄

錦町6丁目の至誠ホーム内にあるケアプラザは、昭和40年から養護老人ホームとして、平成15年からはデイホームとして親しまれてきました。借地でしたが、このたび土地の購入が叶い、老朽化した建物の取り壊しを行い、至誠学舎立川の法人内で、新しい事業を進めていく計画を立てています。

至誠学舎立川の障害福祉事業は、児童養護施設至誠学園を卒業した後も継続的に支援が必要な人へのアフターケア事業の一つとして、平成9年に創設された知的障害者小規模通所授産事業に始まりま

す。現在は、障害者総合支援法（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）に基づいた「ワークセンター」まことくらぶ（障害者が働く場・就労継続支援B型、定員20名）と「まことホームアウリンコプラス（ショートステイ、定員6名）」があります。

20年を超える経過の中でご利用者のご家族の高齢化等もあり、ご利用者自身の自立した社会生活を支援するグループホームの設置と、身体機能や生活能力向上のために支援が必要なご利用者のための生活介護の事業が求められています。これらのニーズに対応する事業の整備と充実化は、法人の中期計画に盛り込まれ、具体化のための検討を進めてきました。当初は、近隣地域にグループホームを設置する計画で物件を探していま

すが、ケアプラザの跡地利用について検討する中で、障害福祉事業と社会福祉法人に責務化された地域貢献の拠点をつくることが提案されました。そこで、昨年度から法人内にプロジェクトチームを立ち上げ具体化に向けた検討と準備を進めています。

新しく建設する施設の概要は、鉄筋コンクリート造り3階建て、延べ床面積1435.76㎡(435.08坪)です。1階は事務所と多目的ホール、2階は就労継続支援B型事業と生活介護事業（多機能型）、3階は障害者グループホーム2ユニット(5室×2)を予定しています。

新施設が竣工すると、現在至誠学園のキャンパスにある「ワークセンターまことくらぶ」は、2階に生活介護との多機能型として移転します。そして、至誠ホームアウリンコの中にある「まことホームアウリンコプラス」と「まことカフェクッカ（まことくらぶの出張所）」を新施設と一体的に管理できる環境が整い、さらに充実した運営ができることを

期待しています。

また、日野市にある「ショートステイあずま（定員3名、休止中）」は、東京都と協議した結果、「至誠ホームアウリンコ」の高齢者ショートステイの空床型（3名分）に移行する方向で検討中です。「ショートステイあずま」が使用していた建物は、東京都のご了解を得て、今年度から「至誠あずま保育園」の一時保育や地域貢献活動に活用していきます。今後のスケジュールは、8月に東京都障害者グループホーム施設整備のための補助金申請を行い決定されれば、来春ぐらいには、建設工事が始まります。そして、2021年に新しい施設での事業がスタートします。

1階部分の多目的ホールについては、子ども食堂や学習支援等子どもの貧困への支援活動、障害児デイサービスや発達障害児療育など、保育事業本部や児童事業本部、そして高齢事業本部の持っている特性や機能・専門性を応用して、制度のはざままで支援が届いていない福祉ニーズの掘り起こしや質の高いサービスが求められている事業に、地域の方々の協力も得ながら活用できればと思っています。

児童事業本部がプロジェクトを主管し、法人が一体となり進めていきます。新施設建設にあわせて、ご利用者の募集や職員採用と研修、建設や設備・備品購入のための助成や融資の申請、ご寄付のお願い等資金調達のための努力をしていきます。関係者はもとより地域の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 1. お手紙コーナー

お手紙301004 匿名 アウリンコ1階ポスト 要望

インフルエンザの季節で、手洗い、消毒が大切だと思います。ところが、石けんなどが補充されていないフロアがあり、伺ったさいに困っています。必ず常備補充、確認をしていただければありがたいです。（要約して掲載）

（\*回答者：至誠ホームアウリンコ）

園長 吉上恵子

↓お手紙を頂戴しましてありがとうございます。館内の確認を行いました。アルコール消毒液は引き続き1階、3階の玄関に設置しております。石けんはユニット内トイレ用の容器を購入し、設置を完了しました。セミパブリックスペースの洗面台については目が届き難いため、常設はせず必要時に担当者が準備、片づけを行っています。確認、補充は、清掃委託業者と職員で担当を決め行って参ります。

### 2. 本部受付

メール301004 地域住民より苦情・要望

■デイサービスの送迎車が、車を道の真ん中に駐車したり、停止線を越えて駐車している。この駐車の方は違反ではないか。送迎ルートの変更をして欲しい。

（\*回答者：柏地域福祉サービスセンター）

センター長 鈴木伸行

↓今回ご指摘いただいた点について、停止線を越えて停車していることが判明しました。結果を踏まえ、交通ルールの遵守を職員で改めて確認を行いました。また周辺に何軒か送迎している方がおりますが、確認したところルートの変更が可能なためルートの変更を実施しました。

ここ数年、送迎車に関する苦情・要望が多く寄せられています。そのためホーム全体で安全運転にむけた講習会の定期的な開催、ミーティング等での注意喚起を繰り返していただくことにします。

以上を含め、下半期はお手紙が1通、お電話等が5件でした。

### 平成 30 年度ボランティア受入 / 福祉学習協力状況 平成 31 年 2 月～平成 31 年 3 月

施設名	事業名	一般 V	V 体験	計	累計
至誠特別養護老人ホーム	特 養	425	28	453	2,553
至誠ホームアウリンコ	特 養	77	0	77	560
	通所介護	69	0	69	464
生活アクティビティ		169	0	169	1,209
至誠和光ホーム	軽費老人ホーム	35	0	35	184
至誠ホームスオミ	ケアハウス	10	0	10	49
	G H	74	0	74	722
至誠コミケアセンター	いこいの場※2	58	0	58	342
	通所介護	20	0	20	235
至誠調布若葉ケアセンター	G H	6	0	6	73
	通所介護	14	0	14	119
至誠ホームキートス	特 養	467	0	467	3,260
	通所介護	91	0	91	607
至誠柏ケアセンター	通所介護	110	0	110	675
	小規模多機能居宅介護	87	0	87	447
至誠ホームナ	特 養	23	0	23	101
	G H	0	0	0	2
至誠国分寺ケアセンター	通所介護	54	0	54	334
計		1,789	28	1,817	11,936
累計		11,596	340	11,936	42,736

※ GH: グループホーム ※ 2: 自主事業

### 至誠ホーム利用者状況

事業内容		2月	3月	累計
自主事業	ふれあい夕ごはん事業	261	304	3,556
	利用者数	28	29	354
	保養ステイ事業 (和光)	28	31	135
	保養ステイ事業 (スオミ)	3	0	7
	通所介護 (至誠アケティアセンター)	46	44	587
短期入所生活介護	至誠ホームアウリンコ	510	473	6,528
	至誠ホームキートス	459	460	6,357
通所介護	至誠ホームアウリンコ	482	492	6,329
	調布若葉ケアセンター	489	497	6,597
	調布柴崎ケアセンター	384	442	5,109
	至誠キートスケアセンター	886	944	11,733
	至誠柏ケアセンター	576	672	7,258
	至誠国分寺ケアセンター	515	533	6,732
訪問介護	至誠コミケアセンター	604.0	615.0	8,530.5
	至誠キートスケアセンター	600.0	568.0	7,158.5
小規模多機能	至誠ホームミナ	596	682	7,164

※入居施設定員

至誠特別養護老人ホーム 96 名、至誠ホームアウリンコ 129 名、至誠ホームキートス 70 名、至誠ホームミナ小規模特養 29 名、至誠和光ホーム 50 名、至誠ホームスオミ・ケアハウス 50 名、至誠ホームスオミ・グループホーム 9 名、調布若葉ケアセンターグループホーム 18 名、至誠ホームミナグループホーム 18 名

※サービス付き高齢者向け住宅せせらぎ 15 戸 サービス付き高齢者向け住宅フラット「楽」 7 戸

※訪問介護は提供時間

※利用延日数

## ホーム日誌

平成 31 年 2 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日  
CH: ケアハウス、GH: グループホーム  
錦: 錦地区、和: 和光ホーム、多: 多摩川ブロック  
ア: アウリンコ、ス: スオミ  
キ: キートスグループ、国: 国分寺ブロック、調: 調布地区

2 月  
ともしび法話会 (錦)  
豆まき (和)

3 日  
サビス向上地区大会 (キ)  
運営推進会議 (ス) / サビス向上地区大会 (錦)

5 日  
サビス向上地区大会 (キ)  
運営推進会議 (ス) / 給食委員会 (和)

12 日  
サビス向上地区大会 (キ)  
運営推進会議 (ス) / 給食委員会 (和)

14 日  
サビス向上地区大会 (キ)  
運営推進会議 (ス) / 給食委員会 (和)

16 日  
サビス向上地区大会 (キ)  
運営推進会議 (ス) / 給食委員会 (和)

19 日  
サビス向上地区大会 (キ)  
運営推進会議 (ス) / 給食委員会 (和)

20 日  
サビス向上地区大会 (キ)  
運営推進会議 (ス) / 給食委員会 (和)

26 日  
サビス向上地区大会 (キ)  
運営推進会議 (ス) / 給食委員会 (和)

27 日  
サビス向上地区大会 (キ)  
運営推進会議 (ス) / 給食委員会 (和)

28 日  
サビス向上地区大会 (キ)  
運営推進会議 (ス) / 給食委員会 (和)

## 感謝録

温かい御支援・御協力下さいました方々に厚く御礼申し上げます。(敬称略)

平成 31 年 2 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

### ① 金員の部

小松 滋 小松万壽子 長谷重子 古林昌子

### ② 物品の部

木宮絹枝 宗教法人真如苑 中村昭彦 (株)川原経営総合センター「ぶくろう会」事務局 名取種子 榎本常男 アピリティーズ・ケアネット(株)会長兼社長

1369 件 (延 372 件)

佐藤さち 神田ミヨ 安本善衛  
安本サヨ子 御野秀雄 (株)関山 光西寺  
太田 利 鈴木幸子 高山俊子 柴田道子  
蔵田郁枝 (株)サンプロス代表取締役馬場弘行  
浅見義明 大倉秀夫 甲斐千里 倉本 宣  
熊谷育子 坂本秀高 船橋真弘 高部 博  
双葉食品徳崎健 船橋綾子 松田克己  
渡邊綾子 小野俊雄 清原サツキ 今野和子  
西村 一夫 岡田 清 高橋雪子 南部 浩  
馬場維男 横田昭夫 堀口 勉 下東玲子  
濱崎裕子 熊切久徳 戸田理一 伊東清子  
庄司洋子 竹ヶ原郁子 橋本 茂 保谷正幸  
勝木敬子 齋藤藤子 志村久枝 高橋直子  
谷口政美 高島陽一 樋口幸子 宮川典子  
池谷正義 辻口喜明 辻口三穂子 水田康子  
伊藤英雄 吉崎武子 奥 一郎 奥 陽子  
神山稔子 種村和江 寺島英子 大越朝子  
岡田勝弘 松田紀子 松田圭彦 YOK (株)  
橋詰 亨 山下清超 保坂栄一 板谷誠一  
田代啓美 三中西博介 三中西せい子 中畑津和子  
下田光江 上岡謙夫 地引 憲 高野依利子  
大橋とし江 大館純子 佐藤勇喜 石戸良治  
市川敏夫 飯島ひとみ 林 愛子 師岡恵美子  
寺澤喜代 皆口万里子 加藤 清 水越栄子  
齋藤喜太郎 齋藤美津子 熊澤和枝 (社)東京都共  
同募金会「瓜切り屋」メディカルフットケア JF 協  
会 会長ヘアクリン(株)代表取締役尾越達男  
藤正人 (株)日本共同システム代表取締役尾越達男  
藤正人 (株)日本共同システム代表取締役尾越達男  
(社)桜栄会理事長加藤美代子 酒井医療(株) (社)福  
万葉の里理事長古橋耕二郎 錦町五丁目親和会 伊藤  
産業(有) ワタキューセイモア(株)東京支店支店長牧野智  
形如式典(有) 松浦商事(株)代表取締役松浦孝治 (株)ニフ  
ス 東洋リネンサプライ(株)代表取締役松本行雄 東京  
アメニクス(株) パラマウントベッド(株)横浜支店支店長  
佐竹隆一 川原経営グループ代表川原真貴 (社)福立  
川市社会福祉協議会宮崎晴至 立川調剤薬局 (株)東京  
ボン・サンテ代表取締役社長林守 錦東和会会長林功  
(社)福立川市社会福祉協議会 社会保険労務士田中事務  
務所田中理文 錦みよし会会長田中清次郎 (社)福恵  
比寿会理事長森山善弘 矢崎公認会計士事務所矢崎芽  
生 橋本富美子 旭 博之 春山順子 あゆみの箱



- 伊東弘泰 小島真紀 (株)デイスカレッジ (株)エフエム東京 (社)福 東京都社会福祉協議会東京善意銀行 東洋リネンサプライ(株)代表取締役松本行雄 (株)日立システムズ産業流通営業統括本部第七営業本部長宮本和浩 ニック(株)多摩営業所所長梨本亮太 クン・プロダクト一級建築士事務所 アイリスチトセ(株)代表取締役大山富生 パラマウントベッド(株)横浜支店支店長佐竹隆一 西武信用金庫立川南口支店常勤理事支店長長牛山淳一 ワタキューセイモア(株)東京支店支店長牧野智日本建設(株)専務取締役熊谷満 立川市高齢者福祉施設 川原経営グループ代表川原文貴 東京アメニクス(株)代表取締役竹崎幸太郎 (株)三菱UFJ銀行頭取三毛兼承 (株)ニフス代表取締役加藤欽彦 (株)マイナビ就職情報事業本部 (社)福 恵比寿会理事長森山善弘 家族会 (至誠特別養護老人ホーム・至誠和光ホーム・至誠キートス悠遊倶楽部) (社)福 至誠学舎立川諏訪の森保育園園長斎藤佐知子 至誠ホーム後援会会長師岡恵美子
- 31件 (延110件)**
- ③ ボランティア (錦地区)**  
**(1) 一般ボランティア**  
 立川市 NPO法人立川レクリエーション協会  
 おはなしたまご みどりの会 立正佼成会壮年部ボランティアチーム 朗読サークルこえ 鈴の会 錦六茶友会 遊木会 すだちの会 もみじの会  
 相庭鳩枝 赤松富子 麻生ミエ 荒井キミ  
 荒井益子 安藤道子 飯田幾子 五十嵐和子  
 伊藤信子 井上京子 今村サユリ 岩谷淳子  
 梅津美和子 及川悦子 及川清一 大古春子  
 大澤康子 太田 利 大館純子 大友真由美  
 小川 隆 奥 陽子 賀田恵子 加藤典子  
 金澤シズ子 神田ミヨ 岸 幸子 木村千世子  
 木村玲子 蔵田郁枝 倉田雅代 後藤 香  
 五ノ井耐子 小松 滋 小松万壽子 小峰 誠  
 小山時子 近藤庄司 境田美夏 坂本美智子  
 櫻井百合子 佐藤さち 佐藤美智子 篠村綾子  
 下東玲子 ジョージ兼路 鈴木恵子 鈴木幸子  
 砂田かおる 関口鈴代 関根哲子 高木正子  
 高田文彦 高田利花 高松久美子 高山俊子  
 武田利子 田中彩絵 田中 暁 田中美紗子  
 田中由紀子 谷口富美子 寺島英子 西村和江  
 中村公子 長山 溪 永山幸子 永和和  
 野村哈爾美 橋本早紀子 橋本幸子 西村知也  
 坂場雛子 浜中広見 平澤基幸 平田道子  
 蛭田スエ子 藤本聰江 船橋知津子 古林昌子  
 古谷文子 宝諸博文 前中光雄 水田康子  
 水野美鈴 村尾 嵩 村尾 青 村田芳江  
 村山恵美子 茂木ハマ子 山田ハル江 山本久仁子

- 吉川厚子 吉田克子 吉田千鶴子 米山勝利  
 若村ふみ子 渡邊綾子 渡邊薫夫  
**〔国分寺市〕** クイーンマジッククラブ ウケホアヘレ  
 音楽ひろば 石井匡代 稲増貴和美 今井幸子  
 岩下昭子 大浦はつき 鈴木信朗 金尾眞砂子  
 小西佐和 阪口満里子 大木信朗 須山ひとみ  
 竹内美幸 永島律子 西垣まき子 西山寛子  
 ハリス・ブルース ハリス・ローラ 蛭田美子  
 目黒美知子 吉崎武子  
**〔国立市〕** 歌の広場 明石浦子 小見伊津子  
 竹山牧子 西村和也 山根浩子 山本日向子  
**〔国分寺市〕** 前田博美  
**〔他市〕** 聖書の会 ともしび法話会 リラプレカリア  
 阿川聰子 栗野重則 井上知加子 内田明子  
 岡部恵美 小野島周平 加藤晴枝 河合理美  
 島村正博 鈴木保明 高田和彦 長山 溪  
 服部美香 埜 浩光 深水芳子 深谷典子  
**延859名**
- 一般ボランティア (コミホーム)**  
 立川市 加藤 清 磯野俊雄 宮下皆子  
 宇井章子 長谷川総子 芥川友慈 和地登喜子  
 清水春美 磯野初子 金子元衛  
**〔他市〕** 雨宮むつ美  
**延58名**
- 一般ボランティア (キートス)**  
 立川市 メゾピアノ 朗読サークルこえ  
 柏町隣人会 青木豊子 青木融子 浅川恵子  
 網代トモ子 荒井和子 池田三郎 池田静子  
 石川悦子 岩田綾子 上野和夫 梅津美和子  
 大森友子 岡部洋子 奥野智恵子 加賀晴子  
 河野美和子 菊池正勝 北瀬明子 金須礼子  
 栗本和夫 紅林由美子 神山喜久江 斎藤 博  
 櫻井百合子 笹野千勢 貞島哲嗣 佐藤純一  
 佐藤民江 佐藤初美 澤田照代 三中西せい子  
 三中西博介 静田記代子 城 和子 新海寿美子  
 進藤カソエ 杉原ひなこ 鈴木洋子 関根太治  
 高杉勝美 高橋明子 高橋 貞 高橋征子  
 高橋陽子 高橋好弘 武井容子 竹内雅子  
 田中清子 田中秀穂 田中美智子 田邊シゲ子  
 寺本一俊 栃木房義 鳥越幸子 中澤京子  
 中嶋カソ子 中根幸子 中野庸夫 中村さと子  
 中山康之 成田 綴 野村次子 二瓶祥子  
 根津和子 野中けい子 野矢悠子 濱田弘子  
 羽村ミサ子 早坂勝子 林 良治 堀部晴子  
 藤井美千代 別府ひろ子 堀 弘子 溝口礼子  
 本間秋子 本間和吉 松本恵美 谷治晴子  
 宮坂一栄 持丸弘子 森生愛子 若月里美  
 山口弘子 山崎絹江 吉村竹美

- 渡辺佳子 渡会和子  
**〔国分寺市〕** 大井 京 小野千代 小野俊雄  
 風間律子 勝倉ナホミ 河村裕理 時枝由美子  
 中山淳子 橋本美穂 山本佳子  
**〔他市〕** ウクレレ・ホアピリ とみんのメカネ  
 内田喜美子 内田純子 小川貞枝 小澤 廣  
 笠原加代子 金子節子 児玉早苗 佐伯節子  
 櫻井千佳子 佐々木染子 鈴木真弓 高野信子  
 田久保妙子 伊達美紀子 富永勝人 富永允信  
 林 幸子 土方和子 菱山好雄 肥田木雅子  
 福島央巳 保坂栄子 松井 誠 横川好行  
 若杉恵美子 若山千恵子  
**延558名**
- 一般ボランティア (柏センター)**  
 立川市 浅見富江 東 トク 安部 操  
 飯村 睦 石橋京子 岩田綾子 黒田直子  
 小林正子 小林好子 篠田紀子 高橋明子  
 近森英子 榛沢利恵 平野富士枝 広木かほる  
 福西正弘 師岡恵美子 鷺沢美美  
**延110名**
- 一般ボランティア (ミンナ)**  
**〔国分寺市〕** 原垣内和加子 大澤早智子 熊崎 弘  
 熊崎咲子 佐野文子 笹谷信子 中村啓子  
 濱ひで子 栗原克徳 井上允恵 國井洋子  
 丸山秀雄 プレイジョ 河野 了 中川寿恵子  
 櫻村弘美 近藤邦憲 福島淳子  
**延110名**
- 一般ボランティア (もともち)**  
**〔国分寺市〕** NPO法人日本笛協会 国際文化理美容  
 専門学校 横山交子 和田博子  
**〔他市〕** 菅野彰子 福田洋子 吉富晶子  
 萬 由美 秋山真理美 今井佐智子  
**延54名**
- 一般ボランティア (調布若葉)**  
**〔調布市〕** 明西寺 石橋隆二 江上芳子  
 益イッ子 大村哲夫 押部忠康 狩野富枝  
 齊藤 孝 鈴木悦子 中澤禮吉 中島玲子  
 服部芳子 宮崎雅代 小泉圭右 鎌田幸光  
 渡会健一 木村宏子 瓦林紀子  
**延26名**
- 一般ボランティア (調布柴崎)**  
**〔調布市〕** 大久保力 笠原亜衣 當麻亨子  
 佐藤省一 鈴木委子 高村一颯 高村れいじ  
 松岡真由美 有馬奏太 神保優花 神保もえか  
**延14名**
- 〔錦〕** 至誠保育園  
**〔キートス〕** なし  
**〔柏センター〕** なし  
**〔ミンナ〕** なし  
**〔もともち〕** なし  
**〔調布若葉〕** なし

# 福祉学習協力

平成31年2月1日～平成31年3月31日

- ① 実習研修
    - ◎ 社会福祉士
      - 十文字学園女子大学 市来理香(8日)計1名 延8日
    - ◎ その他
      - 東京慈恵会医科大学医学部看護学科4名(各2日) / 杏林大学付属看護専門学校2名(各3日)
  - ② 体験学習 なし
  - ③ 見学・視察
    - 中国ハルビン看護学校8名 / 淑徳大学稲垣先生他8名 計17名 累計112名
- 計6名 延26日間

## 後援会加入のお願い

皆様方の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。お申し込みは下記事務局へ

事務局	立川市錦町 6-28-15	TEL. 042-527-0031
至誠ホーム	立川市幸町 4-14-1	TEL. 042-538-2323
至誠キートスホーム	国分寺市並木町 3-12-2	TEL. 042-300-3700

会費 2,000円以上  
会長 師岡 恵美子

《振込口座》  
口座番号：00120-9-32523  
口座名：高齢者総合福祉施設至誠ホーム後援会



# 後援会コーナー

## 後援会費納入者ご芳名

(敬称略・順不同)

誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。平成31年2月1日〜平成31年3月31日

- 松下近子 中野満佐美 蓮見恭子
- 佐藤規子 長谷重子 古林昌子
- Yショップ柳澤店 下東玲子 金井裕一
- 小野瑛子 小松 滋 小松万壽子
- 佐藤さち 神田ミヨ 藤本聰江
- 新井セツ子 井上富士子 義江明子
- 安本善衛 安本サヨ子 今井二三雄
- 御野秀雄 (株)関山 光西寺
- 野村哈爾美 太田 利 鈴木幸子
- 高松久美子 田中章司 高山俊子
- 春山順子 橋本富美子 柴田道子
- 蔵田郁枝 山川俊子 加藤 清
- 加藤道子 (株)サンエー電化 (株)東京ボーン・サント
- 浅見富江 浅見義明 磯野初子
- 小俣明洋 大倉秀夫 大神田忠弘
- 大西信一 甲斐千里 倉本 宣
- 熊谷育子 小向敏江 佐藤真弘
- 清水春美 杉山俊子 高久征子
- 高部 博 内藤 博 双葉食品徳崎健
- 堀 弘子 松田克己 三田憲次
- 三田芙美子 渡邊綾子 岩品昭夫
- 小野俊雄 清原サツキ 今野和子
- 渋谷まさみ 西村一夫 岡田 清
- 大村洋永 酒井守利 高橋昭三
- 高橋雪子 竹村和子 永井勝利
- 南部 浩 馬場維男 福田修一
- 福田節子 堀江登代子 村田康子
- 山岸とし子 吉岡恵一 横田照夫
- 飯村 睦 渡辺正志 堀口勉
- 荒井 文 神谷尚男 神谷良江
- 岩崎不動産(株) 石橋京子 伊東清子

- 大沢英一 菅野 栄 庄司洋子
  - 戸田和三 中山詔八郎 橋本 茂
  - 橋本ソヨ 保谷正幸 矢野慶子
  - 渡辺道子 青山夏樹 (有)松山堂薬局
  - (有)カナイメデイカル 勝木敬子
  - 上條たか 斎藤藤子 志村久枝
  - 高橋直子 (株)朝雅 大山 一
  - 四戸友晴 高島陽一 土方一成
  - 樋口幸子 宮川典子 (有)小野印刷
  - アオキ住宅機材販売(株)代表取締役社長長米山 鐘一 アオキ住宅機材販売(株)青木憲明
  - 池谷正義 石射 保 辻口喜明
  - 辻口三穂子 水田康子 伊藤英雄
  - 吉崎武子 奥 一郎 奥 陽子
  - 神山稔子 師岡邦臣 師岡恵美子
  - 師岡幸太郎 内田 務 種村和江
  - 高橋明子 篠田紀子 磯崎 実
  - 磯崎静子 寺島英子 荻原はつ子
  - (株)多摩健康企画 大越朝子 岡田勝広
  - (有)三上鯉節店 松田紀子 高橋久子
  - 松田圭彦 クンプロダクト一級建築事務所
  - 松本孝子 橋詰 亨 村瀬博子
  - 岡本征子 山下清超 保坂栄子
  - 竹内美幸 田代啓美 橋本百合子
  - 間野明子 三中西博介 三中西せい子
  - 山崎和子 中畑津和子 貴志朋子
  - 宮澤友子 下田光江 榎本良一
  - 上岡謙夫 地引 憲 高野依利子
  - (株)総合エンジニアリング研究所
  - 大山勝美 岸 幸子 松本美代子
  - 尾形勝子 大橋とし江 及川雅弘
  - (株)サポートジャパン 名取 誠 大館純子
  - 篠村綾子 齋藤美津子 須崎昭平
  - 齋藤喜太郎 高松信幸 筒井常雄
  - 藤森裕子 熊澤和枝 野末正江 広木かほる
  - 熊澤和枝 桃野幸子
- 以上193名

## 地域包括支援センターコーナー

立川市北部中さいわい地域包括支援センター  
 立川市にしき福祉相談センター  
 国分寺地域包括支援センターもとまち  
 国分寺地域包括支援センターなみき  
 国分寺地域包括支援センターほんだ  
 調布市地域包括支援センター至誠しばさき

042(538)	2339
042(527)	0321
042(301)	5001
042(300)	3702
042(300)	2339
042(488)	1300

## 高齢者の「ゴミ出し」

急速に高齢化が進む中、「ゴミ出し」が困難な高齢者の方が増えています。原因は高齢化により筋力が低下して思うように体が動かない、また認知機能の低下により分別ができない、出す曜日が分からない等の問題が加わるからです。ゴミ出しと一言で言っても様々な工程を経る必要があります。

下を招く↓外に出られなくなる↓近隣とのつながりが途絶える(孤独になる、周囲は気づかない、助けを求められなくなる)↓生活する気力が湧かない↓自暴自棄になる(セルフネグレクト)↓結果、孤独死につながる、このような方々が現在増えています。

先日立川市では「ゴミ出し支援懇談会」が

ある高齢者の方の一例ですが、まずゴミを分別する↓指定された袋に入れるまたはヒモ等でまとめる↓出す曜日と時間を確認する↓回収時間を考慮して寝る↓回収時間を考慮して起きる↓顔を洗う↓朝ご飯の準備をして食べる↓服薬をする↓着替えや身支度を整える↓靴を履く↓玄関を出る(カギをかける)↓集積場所(もしくは自宅前)まで行き、ゴミを捨てる↓(カギを開ける)玄関を開ける↓靴を脱ぐ↓自宅に入る、です。エレベーターの無い高層住宅では階段の昇降も加わります。大袈裟な例かもしれませんが、これだけ多くの工程を経てゴミ出しはされているのです。この多くの工程を間違えることなく適切にゴミを捨てることは、高齢期において可能でしょうか。

自分から地域を考えるまちづくり企画が開催され、行政と関係機関が話し合うことがありましたが、市内には介護保険を利用した方法や市の事業、ボランティア等、様々なゴミ出し方法がありますが、利用しづらい、マッチングが上手くいかない等の課題があることや、新たな方法(高層階のゴミ出しにドローンを利用できないか等々)の提案等活発な意見交換がされませんでした。また最近多くみられているオートロックのマンションはセキュリティが高い反面、人の孤立化を助長しやすい面もっており、周囲が気づいたときには問題が大きくなっていることもあるそうです。

さて人は1日あたりどれだけのゴミを出すのでしょうか。約1kg弱のゴミを出すそうです。1か月では約30kg、1年では約365kgとなります。

根本的な解決方法はありませんが、日頃から自分が弱ってゴミ出しができなくなったら、誰か気づいてくれる人や相談したり、助けてくれる人を身近につくっておくことが大切です。これは特定の人に頼ったことではなく、皆さんにも起こりうる問題です。

これだけのゴミが老化や病気により捨てられなくなる↓部屋に溜る(ゴミ屋敷になる)↓部屋が狭く動けない↓運動量が減少して機能の低下

可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、皆さんもお考えいただけましたら幸いです。